

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	長崎県立大学
設置者名	長崎県公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経営学部	経営学科	夜・通信	2	0	20	22	13	—
	国際経営学科	夜・通信			16	18	13	—
地域創造学部	公共政策学科	夜・通信	2	4	24	30	13	—
	実践経済学科	夜・通信			24	30	13	—
国際社会学部	国際社会学科	夜・通信	0	—	24	24	13	—
情報システム学部	情報システム学科	夜・通信	0	8	10	18	13	—
	情報セキュリティ学科	夜・通信			14	22	13	—
看護栄養学部	看護学科	夜・通信	0	2	13	15	13	—
	栄養健康学科	夜・通信			14	16	13	—
(備考) 令和3年度入学生から新課程へ移行。1～2年は新課程、3～4年は旧課程について計上。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページに掲載 https://sun.ac.jp/students_guide/ →「実務経験のある教員等による授業科目一覧」

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長崎県立大学
設置者名	長崎県公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページでの公表 https://sun.ac.jp/corporation/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	学校法人役員	2020年4月 1日～2024 年3月31日	法人理事長 法人運営の責任者
常勤	株式会社取締役 (非常勤)	2019年4月 1日～ 2023年3月 31日	長崎県立大学学長 大学運営の責任者
非常勤	株式会社顧問	2021年4月 1日～ 2023年3月 31日	理事(非常勤) 法人経営の重要事 項に関する決定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長崎県立大学
設置者名	長崎県公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																															
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>以下のとおり、全ての科目について授業計画書(シラバス)を作成し公表している。</p> <p>11月中旬 各授業担当教員へシラバス作成依頼 12月中旬 作成〆切、各学科長及び教務委員が内容を確認 (全学でチェック項目を統一したチェックシートを使用)</p> <p>1月中旬 必要に応じ各教員への修正依頼・調整等 2月中旬 シラバスの公開(Web)</p> <p>なお、シラバスには以下の項目を含み、学生に分かりやすい記載となるよう留意。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要とテーマ ・到達目標 ・各回の授業計画(主題及び内容) ・成績評価の基準 ・成績評価の方法 ・使用するテキスト、参考文献 ・科目のキーワード ・授業の特徴 ・関連科目 ・履修上の注意等(履修条件等) 																															
授業計画書の公表方法	https://sun.ac.jp/students_guide/																														
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																															
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の基準及び方法については、本学ホームページや学生便覧にも以下のとおり掲載しており、授業科目ごとの基準や方法についてはシラバスに明記し学生に周知したうえで厳格かつ適正に行っている。</p> <p><学生便覧抜粋></p> <p>学業成績は、筆記試験のほか、平素の出席状況、学修状態、研究報告その他を総合して判定します。成績評定の基準は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成績評語</th> <th>点数</th> <th>単位付与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A(秀)</td> <td>90~100点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>B(優)</td> <td>80~89点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>C(良)</td> <td>70~79点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>D(可)</td> <td>60~69点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>F(不可)</td> <td>59点以下</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>N(単位認定)</td> <td>—</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>G(合格)</td> <td>—</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>H(不合格)</td> <td>—</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>Y(失格)</td> <td>—</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table>		成績評語	点数	単位付与	A(秀)	90~100点	合格	B(優)	80~89点	合格	C(良)	70~79点	合格	D(可)	60~69点	合格	F(不可)	59点以下	不合格	N(単位認定)	—	合格	G(合格)	—	合格	H(不合格)	—	不合格	Y(失格)	—	不合格
成績評語	点数	単位付与																													
A(秀)	90~100点	合格																													
B(優)	80~89点	合格																													
C(良)	70~79点	合格																													
D(可)	60~69点	合格																													
F(不可)	59点以下	不合格																													
N(単位認定)	—	合格																													
G(合格)	—	合格																													
H(不合格)	—	不合格																													
Y(失格)	—	不合格																													

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 厳格な成績評価の仕組みとしてGPAを導入し、きめ細かい履修指導を行っている。GPAの算出方法は下記ホームページにより公表しているほか、学生便覧にも掲載し学生に対しても十分に周知している。また、学生は自身の累積GPA、各学年GPA及び全体分布について、学生支援システムにより随時確認することができるようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://sun.ac.jp/students_guide/undergraduate_students/gpa/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 大学全体、各学部及び各学科においてディプロマ・ポリシーを定め、これを達成するためのカリキュラム・ポリシーと併せ下記のとおり大学公式ホームページにて公表している。 また、卒業に必要な単位数や卒業要件についても明確に定め、ホームページのほか学生便覧にも明記し、学生に対しても十分に周知を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://sun.ac.jp/guide/policy/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	長崎県立大学
設置者名	長崎県公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sun.ac.jp/corporation/legal/financial
収支計算書又は損益計算書	https://sun.ac.jp/corporation/legal/financial
財産目録	
事業報告書	https://sun.ac.jp/corporation/legal/financial
監事による監査報告(書)	https://sun.ac.jp/corporation/legal/financial

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:
・自己点検 https://sun.ac.jp/evaluation/self
・評価の結果 https://sun.ac.jp/evaluation/corporation/result/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/purpose/)
<p>(概要)</p> <p>現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の企業経営及び組織の管理に必要な経営学の知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業やその他の組織の課題に主体的に対応できる人材 ・現代のグローバル化している企業経営に必要な経営学の知識・知見と実践力及び語学力とともに海外での実践を通じて国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy https://sun.ac.jp/students_guide/recognition/business)
<p>(概要)</p> <p>経営学部では、次の知識・スキル・態度を修得し、大学が掲げる 6 つの KEN-SUN 力 (※) を発揮できる人物に学士 (経営学) の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営に関する基礎理論と企業をはじめとする組織が活動する社会の仕組みについての基本的な知識 2. 経営、商学・マーケティング、会計等に関する専門的な知識をもとに、経営上の諸問題を発見・分析・解決できる実践的能力 3. コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力、国際経営学科では外国語を用いたそれらの能力 4. 他者の意見や人格を尊重し、自分の考えを伝えることができる能力 <p>また、卒業に必要な単位数や卒業要件についても明確に定め、ホームページのほか学生便覧にも明記し、学生に対しても十分に周知を行っている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy)
<p>(概要)</p> <p>経営学部では、以下の方針に従って教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営に関する理論や企業が活動する社会の仕組みについての基本的な知識を修得させるため、学部共通科目として会計学、経営学、商学や経済に関する基礎的な科目を配置する。 2. 経営上の諸問題を理解するために必要な専門的知識を修得させるため、基幹科目として企業や経営全般に関する科目を配置する。 3. 経営上の諸問題を発見・分析・解決し、ビジネスの場で活躍できる実践能力を育成するため、発展科目として経営・国際経営・会計等関連科目、実践科目を配置する。 4. コミュニケーション力 (意見の発信・傾聴)、協働する力を向上させ、それまで学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養させるため、「基礎演習」及び「専門演習」を配置する。 5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、「卒業論文」を配置する。 6. 国際経営学科では、全学教育と専門教育の連携により語学力を向上させ、英語を用いたコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力向上させるため、英語による授業等の科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://sun.ac.jp/guide/policy/admission/>)

(概要)

大学としては、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げている。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成する。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指す。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成する。

上記を踏まえ、経営学部においては、次のような学生を求める。

- ・企業の仕組み、マーケティング、簿記・会計などに関心を持つ人
- ・国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- ・企画力と課題解決能力を学び、チームで良質な製品・商品・サービスを顧客に提供することに強い関心を持つ人
- ・外国語を用いて、グローバルに活躍するビジネスパーソンを目指す人

※6つのKEN-SUN力

1. 長崎とNagasaki

長崎で地域を理解するとともに世界の中のNagasakiを知ることで、グローバルに交流しながら地域・国際社会に貢献し、平和を創る力

2. 知識と知恵

未来を生き抜く知識を修得し、それを知恵として活用する力

3. 尊重と主張

他者を尊重するとともに、自己を主張し、協働・共生する力

4. 想像と創造

物事を多面的・俯瞰的にとらえる想像力と新しい知を創造する力

5. 挑戦と継続

未知の課題に挑戦しつつ、学びを継続する力

6. 自立と自律

自立した生活と自律的な学びをする力

学部等名 地域創造学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/purpose/)
<p>(概要)</p> <p>地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材 ・企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy https://sun.ac.jp/students_guide/recognition/regional/)
<p>(概要)</p> <p>地域創造学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域経済、企業、行政の仕組みとそれら相互の関係を、専門的で、かつ現場の視点から理解、分析できる能力 2. 広い視点で長崎を含む地域の諸課題を発見、理解、共感し、その課題について科学的な根拠をもとに調査、分析し、自分なりの課題解決の方向性を示すことができる能力 3. 政策や企画を立案するプロセスを修得し、公的団体等の政策を企画・立案・支援できる能力 4. 経済理論や歴史をもとに、地域の暮らしや、企業活動について分析できる能力 5. 地域課題に対してビジネスの手法を用いて解決できる能力 6. 他者の意見や人格を尊重しながら、自ら問題解決の提案・行動をすることができる能力 <p>また、卒業に必要な単位数や卒業要件についても明確に定め、ホームページのほか学生便覧にも明記し、学生に対しても十分に周知を行っている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy/)
<p>(概要)</p> <p>地域創造学部では、以下の方針に従って教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域や経済、社会に関する基礎的な知識を修得させるため、学部共通科目に経済の基礎理論や統計基礎科目を配置する。 2. 政策立案、評価を理解し、実際に有効化させるために基幹科目に政策の立案、形成、評価に関する科目を配置する。加えて、発展科目に法律に関連する科目を配置する。 3. 地経済理論をもとに、企業、政府の活動について理解するために基幹科目に経済理論や、政策、ファイナンスに関連の科目を配置する。 4. 地域の課題の把握及びその対応のために発展科目に地域の社会、環境、文化などを理解に関する科目を配置する。 5. 企業、地域経済の仕組みを多角的に理解するために、発展科目に地域の産業や企業行動に関する科目を配置する。 6. コミュニケーション力 (意見の発信・傾聴)、協働する力を向上させため各種演習科目を配置する。また、それまで学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養させるため、「卒業論文」を配置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://sun.ac.jp/guide/policy/admission/>)

(概要)

大学としては、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げている。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成する。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指す。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成する。

上記を踏まえ、地域創造学部においては、次のような学生を求める。

- ・地域社会や地域経済の課題に関心を持ち、その課題解決方法を学びたい人
- ・積極的に地域に入って、課題の発見や分析を行いたい人
- ・他者と協働してよりよい地域社会や地域経済を創造したい人

学部等名 国際社会学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/purpose/)
<p>(概要)</p> <p>国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成することを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy https://sun.ac.jp/students_guide/recognition/globalmedia/)
<p>(概要)</p> <p>国際社会学部 (国際社会学科) では、次の知識・スキル・態度を修得し、大学が掲げる 6 つ KEN-SUN 力 (※) の発揮できる人物に学士 (国際社会学) の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな国際感覚、語学力と高いコミュニケーション力を身につけ、地域やグローバル社会で活躍できる力 (知識、スキル、態度) 2. グローバル化の構造や仕組みについて基本的な知識を身につけ、現代社会の諸課題に取り組んでいく力 (知識) 3. メディアに関する基礎的な知識を身につけ、多様性を尊重しながら自分の意見を発信する力 (スキル) 4. グローバル化が進む社会の諸課題を自ら発見し、改善に向けた方策を実践的に提案していく力 (スキル) 5. 社会の変化へ柔軟に対応し、新たな知識を身につける意欲を持ち続ける力 (態度) 6. 社会の中で自分が果たすべき役割を考え、主体的な生き方を選ぶことができる力 (態度) <p>また、卒業に必要な単位数や卒業要件についても明確に定め、ホームページのほか学生便覧にも明記し、学生に対しても十分に周知を行っている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy/)
<p>(概要)</p> <p>国際社会学部 (国際社会学科) では、以下の方針に従って教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会に関する知識を修得させるため、入門科目として国際関係やメディア社会に関する基礎的な科目を配置する。 2. 国際社会が直面する問題の理解を目指し、基幹科目として国際関係やメディア社会に関する学術的知識を修得させる科目を配置する。 3. 国際社会を多角的に分析・考察できるように、発展科目としてグローバル社会研究、メディア文化社会研究に関する科目を配置する。 4. 論理的な表現力とコミュニケーション力を育成するために演習科目を、専門知識を実践的に活かすために実践科目をそれぞれ配置する。 5. コミュニケーション能力 (意見の発信・傾聴)、協働する力を向上させるため、基礎演習及び専門演習を配置する。 6. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、卒業論文の作成を課す。 7. 全学教育科目及び専門教育において英語または中国語を必修とし、外国語による授業、留学生との討論、発表等の科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法 : <https://sun.ac.jp/guide/policy/admission/>)

(概要)

大学としては、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げている。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成する。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指す。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成する。

上記を踏まえ、国際社会学部においては、次のような学生を求める。

- ・ 国際政治や経済など国際社会の諸事象や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- ・ グローバル化する現代社会における諸問題を解決しようとする意欲を持つ人
- ・ 現代社会におけるメディアに関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- ・ 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進に貢献したい人
- ・ 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

学部等名 情報システム学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/purpose/)
<p>(概要)</p> <p>情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材 ・情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy https://sun.ac.jp/students_guide/recognition/systems/)
<p>(概要)</p> <p>情報システム学部では、次の知識・スキル・態度を修得し、大学が掲げる6つのKEN-SUN力(※)を発揮できる人物に学士(情報システム学)または学士(情報セキュリティ学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高度情報化社会をリードするために必要な情報数理、データサイエンス、情報倫理等の基礎的な知識や技術(知識、スキル、態度) 2. 情報技術者として必要なネットワーク、データベース、プログラミング、システム開発等に関する基本的な知識や技術(知識、スキル) 3. 情報技術者として必要な情報システム学または情報セキュリティ学に関する専門的な知識や技術(知識、スキル) 4. 情報技術者として必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力(スキル) 5. 高度情報化社会における諸問題を自ら発見し、解決する能力(態度) <p>また、卒業に必要な単位数や卒業要件についても明確に定め、ホームページのほか学生便覧にも明記し、学生に対しても十分に周知を行っている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法: https://sun.ac.jp/guide/policy/)
<p>(概要)</p> <p>情報システム学部では、以下の方針に従って教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報技術者として身につけておくべき知識や技術を修得させるため、情報数理やIT技術に関する基本的な科目を配置する。 2. 情報システム学科では、プログラミングやコンテンツ制作に関する知識を深めるため、幅広い情報技術に加え、情報システムに関する応用科目と情報デザインに関する科目を配置する。 3. 情報セキュリティ学科では、セキュリティに関する知識を深めるため、幅広い情報技術に加え、情報セキュリティ技術と情報セキュリティマネジメントに関する科目を配置する。 4. 専門知識を修得しながら、コミュニケーション能力、課題解決能力及び協働する力を身につけさせるため、演習科目を配置する。 5. それまでに学んだ全てを統合し、課題の設定・調査・分析・考察・解決法の提案等の能力を涵養するため、「卒業論文」の作成を課す。 6. テスト・レポート・作品・プレゼンテーション・卒業論文等に基づいて学修成果を評価する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://sun.ac.jp/guide/policy/admission/>)

(概要)

大学としては、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げている。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成する。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指す。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成する。

上記を踏まえ、情報システム学部においては、次のような学生を求める。

- ・ 情報技術や情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- ・ 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

学部等名 看護栄養学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/purpose/)
<p>(概要)</p> <p>人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康学科の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的視野をもち、保健・医療・福祉を統合した看護を実践できる人材。看護学の発展に自律的、創造的に寄与する人材 ・「食と健康」に関する専門的知識や技能を保持し、健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる専門的な人材
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy_https://sun.ac.jp/students_guide/recognition/nursing/)
<p>(概要)</p> <p>看護栄養学部では以下の能力等を有し、所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師または管理栄養士の国家資格を得て、高度な専門知識と実践能力を駆使して人々の健康と福祉の向上に貢献できる能力 2. 食の知識が豊富な看護師または医療や看護の知識が豊富な管理栄養士として、「チーム医療」の一員として活躍できる能力 3. 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または「食と健康」の中核的役割を担う栄養教諭および学校栄養職員として、教育現場で活躍できる能力 4. 看護や栄養の分野で活躍する高度専門職業人、研究者、教育者をめざすことができる能力 <p>また、卒業に必要な単位数や卒業要件についても明確に定め、ホームページのほか学生便覧にも明記し、学生に対しても十分に周知を行っている。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://sun.ac.jp/guide/policy/)
<p>(概要)</p> <p>看護栄養学部では、以下の方針に従って教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部の特長を活かした学部共通専門科目として、食の知識が豊富な看護師または医療や看護の知識が豊富な管理栄養士として実践に活かすことができる科目を配置する。 2. 看護学科では、健康に対する基礎的理解を目的とした専門基礎科目、看護の基盤形成、看護判断力・看護技術力・人間関係形成力の養成、看護の展開能力の育成、看護の実践能力の統合を目的とした看護専門科目を配置する。 3. 栄養健康学科では、学科専門科目として栄養学の基礎知識と技術の修得および生命科学への関心を養うための専門基礎科目、各職域の管理栄養士として必要な実践的な専門知識と技術の修得を行うための専門科目を配置する。 4. 学内において修得した知識と技術を統合し、学外での実習を行い、社会性や協調性および実践的な問題解決能力を養う。 5. 養護教諭または栄養教諭免許取得を希望する学生のために、養護教諭または栄養教諭一種免許取得のための教職課程科目を配置する。 6. 「看護研究方法論」または「専門ゼミナール」に続く「卒業研究」を通して、自らが設定した課題を実験または調査研究により追及することにより、研究計画の立案力、創造力、総括力、結果の解析・洞察の能力を養う。 7. 学生の主体的な学びの促進と生涯にわたる学びの基盤を養うため、課題解決型学習(PBL)、グループワークなどアクティブ・ラーニングの手法を授業形態に応じて効果的に取り入れる。 8. GPA や学生への授業評価にて学修達成状況を把握し、授業や教育課程の改善に役立てる。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://sun.ac.jp/guide/policy/admission/>)

(概要)

大学としては、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げている。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成する。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指す。

さらに、社会における諸問題に大きな関心を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成する。

看護栄養学部（看護学科と栄養健康学科）の学生は、単にその領域の科目を学習するだけでなく、国家試験を経て人々の健康に直接関わる職業に就くことを社会から期待されている。その基本は、憲法 25 条に定められているように国民が健康で文化的な生活を営むことができるよう、社会的使命を実践することにある。本学部では、豊富な科学的専門的知識を習得するとともに大学生として幅広く学び、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を育成することを教育目標としている。

上記を踏まえ、看護栄養学部においては、次のような学生を求める。

- ・いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- ・人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- ・科学を重視し、適確に物事を行える人
- ・社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- ・協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://sun.ac.jp/guide/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	5人	－					5人
経営学部	－	10人	9人	8人	－人	－人	27人
地域創造学部	－	16人	7人	12人	－人	－人	35人
国際社会学部	－	13人	7人	3人	－人	－人	23人
情報システム学部	－	16人	4人	2人	－人	－人	22人
看護栄養学部	－	13人	11人	11人	6人	－人	41人
その他	－	4人	－人	－人	－人	－人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
－人			114人				114人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://sun.ac.jp/research/researcher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営学部 (経営学 科)	140人	140人	100.0%	560人	612人	109.3%	一人	0人
経営学部 (国際経 営学科)	60人	59人	98.3%	240人	230人	95.8%	一人	0人
地域創造 学部 (公共政 策学科)	120人	122人	101.7%	480人	507人	105.6%	一人	0人
地域創造 学部 (実践経 済学科)	130人	141人	108.5%	520人	553人	106.3%	一人	0人
国際社会 学部 (国際社会 学科)	60人	62人	103.3%	240人	259人	107.9%	一人	0人
情報シス テム学部 (情報シス テム学科)	40人	43人	107.5%	160人	176人	110.0%	一人	0人
情報シス テム学部 (情報セキ ュリティ 学科)	80人	86人	107.5%	240人	263人	109.6%	一人	0人
看護栄養 学部 (看護学 科)	60人	60人	100.0%	240人	247人	102.9%	一人	0人
看護栄養 学部 (栄養健康 学科)	40人	41人	102.5%	160人	166人	103.8%	一人	0人
合計	730人	754人	103.3%	2,840 人	3,013 人	106.1%	一人	0人
(備考) 情報システム学部情報セキュリティ学科は令和3年4月から入学定員増(40人→80人)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営学部	196人 (100%)	2人 (1.0%)	166人 (84.7%)	28人 (14.3%)
地域創造学部	240人 (100%)	5人 (2.1%)	205人 (85.4%)	30人 (12.5%)
国際社会学部	55人 (100%)	1人 (1.8%)	44人 (80.0%)	10人 (18.2%)
情報システム学部	76人 (100%)	7人 (9.2%)	63人 (82.9%)	6人 (7.9%)
看護栄養学部	104人 (100%)	9人 (8.7%)	90人 (86.5%)	5人 (4.8%)
合計	671人 (100%)	24人 (3.6%)	568人 (84.6%)	79人 (11.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

以下のとおり、全ての科目について授業計画書（シラバス）を作成し公表している。

11月中旬 各授業担当教員へシラバス作成依頼

12月中旬 作成〆切、各学科長及び教務委員が内容を確認

（全学でチェック項目を統一したチェックシートを使用）

1月中旬 必要に応じ各教員への修正依頼・調整等

2月中旬 シラバスの公開（Web）

なお、シラバスには以下の項目を含み、学生に分かりやすい記載となるよう留意。

- ・授業概要とテーマ
- ・到達目標
- ・各回の授業計画（主題及び内容）
- ・成績評価の基準
- ・成績評価の方法
- ・使用するテキスト、参考文献
- ・科目のキーワード
- ・授業の特徴
- ・関連科目
- ・履修上の注意等（履修条件等）

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
成績評価の基準及び方法については、本学ホームページや学生便覧にも以下のとおり掲載しており、授業科目ごとの基準や方法についてはシラバスに明記し学生に周知したうえで厳格かつ適正に行っている。				
<学生便覧抜粋>				
学業成績は、筆記試験のほか、平素の出席状況、学修状態、研究報告その他を総合して判定します。成績評定の基準は以下のとおりです。				
成績評語		点数	単位付与	
A (秀)		90～100点	合格	
B (優)		80～89点	合格	
C (良)		70～79点	合格	
D (可)		60～69点	合格	
F (不可)		59点以下	不合格	
N (単位認定)		—	合格	
G (合格)		—	合格	
H (不合格)		—	不合格	
Y (失格)		—	不合格	
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	128単位	有・無	単位
	国際経営学科	128単位	有・無	単位
地域創造学部	公共政策学科	128単位	有・無	単位
	実践経済学科	128単位	有・無	単位
国際社会学部	国際社会学科	128単位	有・無	単位
情報システム学部	情報システム学科	128単位	有・無	単位
	情報セキュリティ学科	128単位	有・無	単位
看護栄養学部	看護学科	128単位	有・無	単位
	栄養健康学科	128単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://sun.ac.jp/campus/sasebo/ https://sun.ac.jp/campus/siebold/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
全学部	県内	535,800 円	176,500 円	－円	
	県外	535,800 円	353,000 円	－円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>1年次の必修科目として「教養セミナー」を配置し、学生が大学での学修・生活に順応できるように指導を行います。</p> <p>また、学生が集中して学習できる環境を提供するために、佐世保校・シーボルト校の附属図書館をそれぞれ夜間 22 時まで開館するとともに、講義室を 21 時まで貸出しています。学生支援課の窓口では随時履修や成績関係の手続きの他、履修の相談にも応じています。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>就職に関する多彩な資料を備えるとともに、求人情報の掲示やメール配信などにより最新情報を提供しています。</p> <p>また、インターネットを通じたリアルタイムでの情報入手が可能です。各種講座、インターンシップ等の実施や受付を行っています。</p> <p>経験豊富なスタッフによる就職相談を実施しています。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>保健室を設置し、常時保健師を配置している。保健室では身長計測器、体重（体脂肪）計、血圧計測器を健康管理のため利用できるほか、病気・ケガ等の際の初期手当てを行う。また、近隣の医療機関の紹介等、一人暮らしでわからない場合の対応も行う。</p> <p>また、保健室（学生相談室）においては、カウンセリングが受けられる。対応は保健師、臨床心理士、学医が行う。</p> <p>さらに学生が教員の研究室等を訪問し、一層のコミュニケーションを図るとともに、授業に関する質問や学生生活、その他いろいろな相談が気軽にできる時間帯として「オフィスアワー」を設けている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://sun.ac.jp/disclosure/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	長崎県立大学
設置者名	長崎県立大学法人

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		438人	419人	－人
内 訳	第Ⅰ区分	231人	214人	
	第Ⅱ区分	128人	137人	
	第Ⅲ区分	79人	68人	
家計急変による支援対象者（年間）				－人
合計（年間）				459人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	11人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	一人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	24人	人	人
計	36人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	一人	人	人
GPA等が下位4分の1	55人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	13人	人	人
計	57人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。